



第4次泉大津市総合計画市民会議

(平成25年12月～平成26年3月)

参加のしおり

名前



第4次泉大津市総合計画市民会議へのご応募
誠にありがとうございます。

この冊子は、市民会議を円滑に進めていくため
事前にお伝えしたい内容を記載した「しおり」です。

事前にお読みの上、市民会議へご参加ください。
よろしくお願いいたします。



泉大津市

目次

- 1 総合計画づくりについて・・・1
- 2 市民会議の目的・役割等・・・2
- 3 市民会議の開催予定・・・・・・・・5

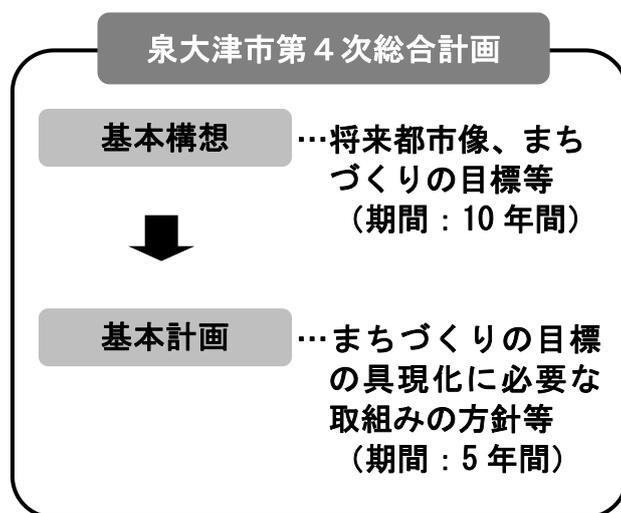
1 総合計画づくりについて

(1) 総合計画ってなに？

総合計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成されています。

総合計画では、将来における泉大津市の「あるべき姿」と「進むべき方向」を示す「まちづくりの指針」となるもので、本市の最上位の計画に位置づけられるものです。

つまり、「泉大津市をこんなまちにしたい」という「まちの将来像」を描き、それを実現するために「行政や市民が取り組むべきこと」を定める重要な計画です。



(2) 総合計画づくりで考慮する点

第4次総合計画をつくるにあたり、以下の点を特に考慮してつくります。

市民参加で総合計画をつくります

市民会議をはじめ、市民アンケート調査などを通して、市民の声を反映させながら総合計画をつくります。

目標数値を設定して計画を管理します

総合計画を絵に描いた餅にしないよう、計画がどれだけ達成できたか測ることができるような目標数値を設定し、計画の進み具合を管理します。

様々な分野の計画と整合させます

泉大津市には、総合計画に限らず、各部課がつくっている様々な分野の計画（泉大津市都市計画マスタープラン、第3次泉大津市地域福祉計画…etc）があるため、これらと内容を整合させた総合計画をつくります。

(3) 計画づくりの体制

第4次泉大津市総合計画は、平成25～26年度の2年間でつくります。

この計画は、市民参加のもと、市職員による検討や、有識者からの指導・助言を踏まえながらつくり上げていきます。市民参加の方法は、16歳以上の市民3,000名を抽出したアンケート調査（平成25年10～11月に実施）のほか、この「市民会議」や、パブリックコメント※の実施を予定しています。

※パブリックコメント：平成26年度に計画の素案を公開し、市の広報・ホームページ等を通して、全市民（市内への通勤者含む）から素案に対する意見を募集します。

2 市民会議の目的・役割等

(1) 市民会議の目的

この市民会議では、「将来の泉大津市の姿」や「市民のまちづくり提案」といったテーマを中心に話し合っただき、意見のまとめを行います。

まず「第4次泉大津市総合計画」をつくるにあたり、泉大津市の自慢できるところ、変えたいところなどについての自由な意見交換から始めて、アイデアや提案を出していただきながら、泉大津市の目指すべき姿について一緒に考えていきます。



(2) 市民会議の役割

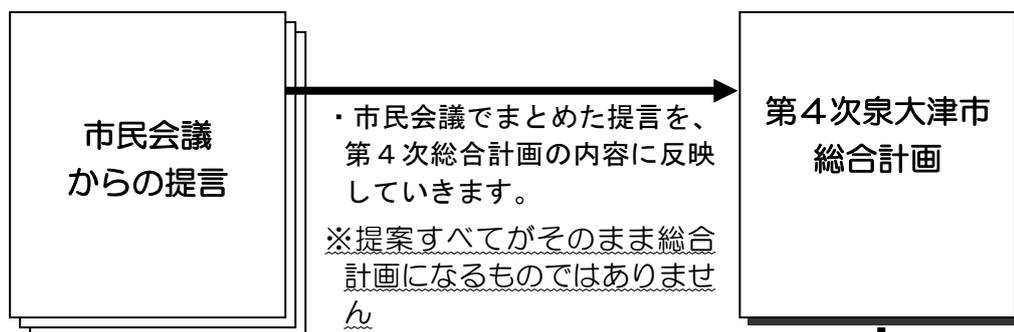
(1) をふまえて、「市民会議」に期待される役割は次のようなものとなります。

- 市民のみなさんが感じておられるまちづくりに関する課題などを提示していただき、かつ、みなさんが理想としているまちとなっていくための具体的な解決方法や提案内容を検討していただきます。

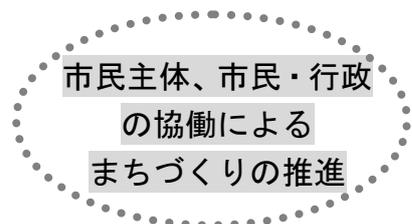
※不平や不満、市への要望を述べる場ではありません。

- 「検討テーマ」に沿ってグループ毎に意見を出し合い、話し合った内容を、第4回目の市民会議（発表会）で提言します。

※個人の主張だけでなく、グループとして提案をまとめます。



- 市民会議終了後も、提言した「将来の泉大津市の姿」を実現していくため、みなさん一人ひとりが、意欲的にまちづくりの活動に取り組んでいきましょう。



(3) 市民会議の実施方法について

市民会議は以下に示すようなワークショップ形式で進めていきます。

① ワークショップってなに？

ワークショップとは、アイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、“会議”といっても、通常の堅苦しい会議ではありません。

わかりやすく言うと、ゲーム的な要素を取り入れ、居間でくつろぐような雰囲気を楽しみながら会議をすることであり、こうした雰囲気の中で、参加者が自由に意見やアイデアを出し、話し合いながら、成果を参加者自身でまとめあげていく検討方法が「ワークショップ」です。



ワークショップって、こんな感じ…

グループ検討では、ポストイットを使った「意見カード」を作ることで個人意見を吸い上げ、KJ法*やデザインゲーム*、シールゲーム*等の手法を用いて意見を集約します。

意見カードを模造紙に貼り、わかりやすく整理します。各回の最後には、模造紙を使って参加者全員で検討した内容を発表しあいます。



- *KJ法：類似する意見をグループ化しながら一つの方向性を導き出す方法。
- *デザインゲーム：提案内容をイラスト・写真化し、紙面上にレイアウトしながらより詳細な検討を行う方法。
- *シールゲーム：シールを使った投票を行い優先順位決定する方法。

② ワークショップの進め方

●参加メンバー

- ・市民アンケート調査に同封したハガキでご応募いただいた市民のみなさん（22名）が中心となり、大学生（包括連携協定を結ぶ3大学の学生、その他有志学生）も参加します。また、会の進行、作業のまとめのサポートとして事務局（市職員・コンサルタント）がご支援します。

●グループ編成

- ・意見交換をしやすいするためグループを編成して、グループ単位で検討を行います。

●進行・意見のとりまとめ

- ・グループでの話し合いはメンバーが主体となって行いますが、議事進行等のグループのリードは事務局スタッフがお手伝いします。
- ・各回で出された意見などは、事務局でとりまとめ、次回開催時までに参加者のみなさんにご報告します。

＝ ワークショップの心得 ＝

- ・参加にあたっては、自主性（自発性）を存分に発揮しましょう。
- ・参加者相互の立場を尊重しましょう（他人の非難・中傷はご遠慮下さい）。
- ・参加者全員が目的など基礎的な共通認識を持って進めましょう。

3 市民会議の開催予定

(1) 市民会議の日程

今年度4回実施する市民会議のプログラム（予定）は以下のとおりです。
 ※細かな時間やプログラムの詳細については、各回の事前にお知らせします。

回	日程	プログラム（予定）	場所
第1回	12/14 (土)	・まち歩きツアー ・班別ワークショップ (泉大津市の自慢できるところ・変えたいところについて)	集合：市役所 解散：テクスピア大阪
第2回	1/25 (土)	・班別ワークショップ (第1回市民会議で参加者の関心が高いトピックなどについて)	市役所
第3回	3/1 (土)	・班別ワークショップ (まちづくりの方針、泉大津市の将来都市像などについて)	市役所
第4回	3/29 (土)	・班別の発表会	テクスピア大阪

(2) 第1回市民会議の詳細

時刻	プログラム（予定）	場所
13:00 集合	・開会 ・主旨、進め方を説明します	市役所集合 (市役所3階 大会議室)
1時間30分 程度	・まち歩きツアー（徒歩）を行います。 (※約2キロを想定)	スタート：市役所 ゴール：テクスピア大阪
1時間程度	・班別ワークショップを行います。 (泉大津市の自慢できるところ・ 変えたいところについて)	テクスピア大阪
16:00 解散予定	・次回の予定を説明します。 ・閉会	テクスピア大阪にて解散

